

平成24年度研究ステーション研究成果報告書

1. 研究ステーション名 ソーシャル・コミュニケーション科学研究ステーション

代表者名 太田敏澄

2. 平成24年度の研究の特筆すべき成果

- 1) Asia Pacific Telecommunity (APT) の Human Resource Development Programme (HRD) での公募プロジェクト Digitalization of maternal and post-natal care system (DigiMAPS) in the rural area in Indonesia by using multimodal communications systems to reduce mother and children mortality rate in Indonesia の実施（平成25年1月～10月）を開始した。
- 2) WCSS 2012(The 4th World Congress on Social Simulation, Taipei, Taiwan, 2012)のワークショップにおいて、メンバーらが招待講演を行い、研究成果の公表と、教育と研究の国際的交流を図った。
- 3) APCEDM 2012(The 11th Asia Pacific Conference on Emergency Disaster Medicine)において博士後期課程OBで日本学術振興会の外国人特別研究員(H22-23年度)の Agung Budi Sutiono 氏、博士後期課程OBの Andri Quiantori 氏、諏訪博彦、太田敏澄が、招待講演を行い、研究成果の公表と、教育と研究の国際的交流を図った。
- 4) 社会情報システム学シンポジウムを、学内外の大学院生や若手研究者、企業の研究者などの研究発表ないし学術的な討論の場として、19年間に亘り継続的に開催してきているが、その第19回を、一般社団法人社会情報学会や一般社団法人経営情報学会の支援を受けて開催した。
また、毎回、社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集 (ISSN : 1882-9473) を刊行してきている。
さらに、同学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース JDream II の JSTPlus に収録されている。

3. 平成24年度の研究成果の公表実績（主催した研究会、研究成果の発信状況等）

- 1) 第19回社会情報システム学シンポジウムの共同主催
- 2) 第19回社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集 (ISSN : 1882-9473)
なお、同論文集の表紙を添付する。

4. 外部資金の獲得状況

(A) 科学研究費補助金

- 1) H22-H24 ソーシャル・メディアによる組織コミュニケーションの有効性に関する研究
(課題番号 : 22330111) (基盤研究B) 研究代表者 : 太田敏澄
- 2) H23-H25 SNS における導入効果および活性化メカニズムの解明と支援ツールの構築
(課題番号 : 23500308) (基盤研究C) 研究代表者 : 諏訪博彦

(B) 国際共同研究

- 1) 2012(H24) Digitalization of maternal and post-natal care system (DigiMAPS) in the rural area in Indonesia by using multimodal communications systems to reduce mother and children mortality rate in Indonesia, Telkom Indonesia (APT/HRD 公募プロジェクト)

(C) 国内共同研究

- 1) H24 飲食店用不動産物件における成功要因分析と物件推薦モデルに関する研究, 株式会社 ABC 店舗との共同研究

5. 今後の研究発展（外部への発信、外部資金獲得計画を含む）

- 1) 国際共同研究 Asia Pacific Telecommunity (APT) の Human Resource Development Programme (HRD) での公募プロジェクト Digitalization of maternal and post-natal care system (DigiMAPS) in the rural area in Indonesia by using multimodal communications systems to reduce mother and children mortality rate in Indonesia の実施（平成 25 年 1 月－10 月）を行い、国内外での研究成果発表を行う予定となっている。
- 2) 共同研究「飲食店用不動産物件における成功要因分析と物件推薦モデルに関する研究」につき、株式会社 ABC 店舗と継続的に行い、国内外での研究成果発表を行う予定となっている。
- 3) 共同研究「店頭アクセスデータを用いた消費者インサイト抽出に関する研究」につき、株式会社 ミディーと継続的に行い、国内外での研究成果発表を行う予定となっている。
- 4) 研究ステーションメンバーによる科学研究費の獲得を目指す。
- 5) 第 20 回社会情報システム学シンポジウムの共同主催を行う予定である。

6. 代表的なピアレビュー論文発表、学会プレナリ、招待講演発表、特許出願、受賞等

代表的なピアレビュー論文発表

1. 大野光太郎, 小川祐樹, 諏訪博彦, 太田敏澄: 東京消防庁における消防活動経験の伝承を支援する SNS の提案, 情報処理学会論文誌, 54(1), 284-294, 2013.
2. 平澤真大, 小川祐樹, 諏訪博彦, 太田敏澄: ニコニコ動画のログデータに基づくソーシャルノベルティのある動画の発見手法の提案, 情報処理学会論文誌, 54(1), 214-222, 2013.
3. 諏訪博彦, 梅原英一, 太田敏澄, インターネット株式掲示板の投稿内容分析に基づくファクターモデル構築の可能性, 人工知能学会論文誌, 27(6), 376-383, 2012.
4. 杉浦昌, 諏訪博彦, 太田敏澄: 教員用 PC で発生したセキュリティ事例の分析－組織の IT セキュリティ対策推進モデルを用いた分析－, 情報処理学会論文誌, 53(9), 2160-2170, 2012.
5. Agung Budi Sutiono, Hirohiko Suwa, Toshizumi Ohta, Muh-Zafrullah Arifin, Yohei Kitamura, Kazunari Yoshida, Daduk Merdika, Andri Qiantori, Iskandar: Development Traumatic Brain Injury Computer User Interface for Disaster Area in Indonesia Supported by Emergency Broadband Access Network, *J Med Syst*, DOI: 10.1007/s10916-012-9867-6, 2012.
6. 諏訪博彦, 梅原英一, 太田敏澄: ファクターモデルによるインターネット株式掲示板の投稿と株式リターンの分析, 情報処理学会論文誌, 53(1), 117-125, 2012.

国際学会プロシーディングス

1. Toshizumi Ohta: Role of Social Media in Disaster, Abstracts of the 11th Asia-Pacific Conference on Emergency and Disaster Medicine (APCEDM 2012), 93, 2012. (学会プレナリ招待講演)
2. Toshizumi Ohta: Modeling of Social Media in Disaster, Abstracts of the 11th Asia-Pacific Conference on Emergency and Disaster Medicine (APCEDM 2012), 55, 2012. (招待講演)
3. Eiichi Umehara, Hirohiko Suwa, Toshizumi Ohta: Stock BBS Factor Model using Principal Component Score, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 7 pages, 2012. (招待講演)
4. Masashi Sugiura, Hirohiko Suwa, Toshizumi Ohta: Analysis of IT Security Implementation in an Organization: Using IT-Security Implementation Model based on Game Theory, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 11 pages, 2012. (招待講演)
5. Toshizumi Ohta, Hirohiko Suwa, Yuki Ogawa, Namie Kato: Social Media in Auto-Genesis System, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 4 pages, 2012. (招待講演)
6. Toshizumi Ohta, Hirohiko Suwa, Namie Kato, Yuki Ogawa: Social Media for Effective Organizational Decision Making, INFORMS International Beijing 2012, 1 page, 2012.

招待論文

1. 岡田勇, 遠藤薫, 佐藤哲也, 鳥海不二夫, 山本仁志, 水野誠, 寺野隆雄, 太田敏澄: 社会シミュレーション: モデルの粒度と現象の接合を探る, 日本社会情報学会学会誌, 23 (2), 65-80, 2012.

招待講演発表

1. Toshizumi Ohta: Role of Social Media in Disaster, Abstracts of the 11th Asia-Pacific Conference on Emergency and Disaster Medicine (APCEDM 2012), 93, 2012. (招待講演)
2. Toshizumi Ohta: Modeling of Social Media in Disaster, Abstracts of the 11th Asia-Pacific Conference on Emergency and Disaster Medicine (APCEDM 2012), 55, 2012. (招待講演)
3. Eiichi Umehara, Hirohiko Suwa, Toshizumi Ohta: Stock BBS Factor Model using Principal Component Score, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 7 pages, 2012. (招待講演)
4. Masashi Sugiura, Hirohiko Suwa, Toshizumi Ohta: Analysis of IT Security Implementation in an Organization: Using IT-Security Implementation Model based on Game Theory, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 11 pages, 2012. (招待講演)
5. Toshizumi Ohta, Hirohiko Suwa, Yuki Ogawa, Namie Kato: Social Media in Auto-Genesis System, Proceedings of the 4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012), 4 pages, 2012. (招待講演)

受賞

1. 社会情報学会 大学院学位論文賞 (博士論文・論文奨励賞) 2012 年 9 月 15 日受賞

杉浦 昌（電気通信大学）

論文標題「情報セキュリティ・マネジメントの有効性に関する研究
ーゲーム理論によるモデル化と分析ー」

2. 社会情報学会 研究発表優秀賞 2012 年 9 月 15 日受賞

石原裕規（電気通信大学）

発表表題「震災時における Twitter ネットワーク分析」（石原裕規，諏訪博彦，鳥海不二夫，
太田敏澄）

3. 社会情報学会 研究発表優秀賞 2012 年 9 月 15 日受賞

向井大誠（電気通信大学）

発表表題「主体性のあるリソースで構成する環境適応組織の仕組み」（向井大誠，諏訪博
彦，太田敏澄）

4. 経営情報学会 学生優秀発表賞受賞 2012 年 11 月 18 日受賞

安藤孝（電気通信大学）

発表表題「営業支援のための内見顧客推薦システムの提案」（安藤孝，小川祐樹，諏訪博彦，
太田敏澄）

5. 経営情報学会 学生優秀発表賞受賞 2012 年 11 月 18 日受賞

西名亮（電気通信大学）

発表表題「商品接触過程に基づく顧客の迷いに関する研究」（西名亮，諏訪博彦，太田敏澄）

7. 備考

本研究ステーションは，平成 25 年度より，「ソーシャル・セキュア・コミュニケーション科学」研究ステーションに改称の予定である。

また，研究ステーションの代表は，太田が退職のため，交代の予定である。

（新）大学院情報理工学研究科・知能機械工学専攻・教授 新誠一

（旧）大学院情報システム学研究科・社会情報システム学専攻・教授 太田敏澄

以上

ISSN: 1882-9473

第19回社会情報システム学シンポジウム

学術講演論文集

テーマ：ソーシャルメディアとビッグデータ

2013.1.23 電気通信大学

主催 社会情報システム学研究会

共催 (一社) 経営情報学会「ソーシャルメディアとシミュレーション」研究部会
(一社) 社会情報学会「社会シミュレーションと人間行動」研究会
電気通信大学 ソーシャル・コミュニケーション科学研究ステーション